一般社団法人国立公園検定協会

国立公園検定

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

国立公園の価値を社会に広く伝え、自然と共生する未来を創るため、教育・観光・地域振興の分野で多様なパートナーと協働しています。
検定制度、教材、研修プログラム、イベント企画など、自然教育に関する幅広いサービスを提供。

担当者：国立公園検定協会事務局　岡本　　連絡先：info@nationalparks-japan.jp

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞

•国立公園の認知度向上と次世代への自然教育
•地域観光資源の価値発信と持続可能な利用
•自然保護と観光の両立に向けた啓発活動
•多様な世代が参加できる学習・体験プログラムの開発

＜企業等の強み等＞

•全国の国立公園に関する体系的な知識を整理、発信できる専門性
•教育機関・自治体・観光事業者との連携実績
•検定制度を通じた継続的な学習促進の仕組み
•多言語対応の教材制作・オンライン学習環境の整備

＜目標、実現したいこと＞

•国立公園の価値を広く社会に伝える人材の育成
•地域と連携した学習・体験プログラムの全国展開
•観光・教育・企業CSRをつなぐ協働モデルの確立
•自然保護と地域振興を両立する持続可能な仕組みづくり

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞

•国立公園検定（1級・2級）を通年で実施し、**受験者3,922名・合格者3,751名 合格率96%** を記録
•1級では**1,929名が受験、1,845名が合格（合格率96%）** と高い到達度を維持
•2級では**1,993名が受験、1,906名が合格（合格率96%）** と安定した成果を達成
•国立公園の自然・歴史・文化・利用と保全を体系的に学ぶ機会として、検定の社会的認知が拡大
•初学者から専門層まで幅広い層が受験し、国立公園に関する基礎知識や専門知識の普及が進展
•最上位資格「国立公園エキスパート」に**１期生17名、２期生22名が認定**
•エキスパート認定者が地域活動・教育・観光分野で活躍し、国立公園の価値発信に寄与
•検定を通じた学びが、国立公園の持続的な利用と保全に関わる人材育成へ貢献

＜次年度取組予定、構想＞

・国立公園検定の内容拡充（最新の保全事例・気候変動・生物多様性などの追加）
・「国立公園エキスパート」認定者との連携強化（地域イベントの共同企画、アンバサダー活動）
・学校教育との連携拡大（中高・大学向け教材の刷新、授業導入モデルの構築）
・企業CSRとの協働プロジェクト創出（保全活動・環境教育・地域振興をテーマにした共創型企画）
・オンライン学習環境の強化（動画教材、オンラインアカデミーなど試案）
・国立公園を巡る「エキスパート級」現地研修の強化（自治体・観光協会と連携）
・受験者コミュニティの形成（オンラインフォーラム、交流イベント、学習サポート企画）
・国立公園の価値発信キャンペーン（SNS・メディア連携・イベント出展）